

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-6

4-IV-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者と地域住民との交流促進
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	6 地域と来訪者の交流促進	事業主体	佐渡市地域振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】	○ 来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。	
	【事業内容】	○ 祭り等地域行事に来訪者が気軽に参加できるよう、地域の受入体制を整備する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ● 域学連携地域づくり応援事業を実施し、地域と大学等との連携や交流を推進することで、交流人口の拡大を図り、地域課題の解決や地域の賑わいを創出する。 <p>事業により連携した地域数:20地域 受入数:200人</p>	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業により連携した地域の数:2地域 ● 参加者数(受入数):17人 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域コミュニティの弱体化が懸念される。外部人材の活用と併せて、地域の中から地域活性化を担う人材を育成することも必要である。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続的な地域活動を行う学生への負担軽減を図り、長期滞在を促進しながらエリアの特性を活かした地域づくりを推進する。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛する団体が多く、受入団体数が減少したため、C評価とした。次年度以降も引き続き活動支援を行うことで、佐渡で活動する団体数を増やすとともに、コロナ禍での受入体制の整備を進める。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。